

時代にまっすぐ、技術にまじめです。

第2四半期 会社説明会



日比谷総合設備

2014年12月13日

2016年7月は日比谷グループ創業50周年

【ご注意】

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

会社概要

■創 立	1966年3月
■代 表 者	代表取締役社長 野村春紀
■資 本 金	57億53百万円
■株 式	東京証券取引所市場第一部
■従 業 員	876名 (2014.3末)
■売 上 高	694億円 (2014.3末)

■事業内容 ・子会社等含む

◆空調・衛生・電気・情報通信・各設備システムの設計施工

◇設備機器の販売・・・[日比谷通商(株)]

◇設備機器の製造・・・[ニッケイ(株)]

◇生産設備設計施工

保守管理・・・[HITエンジニアリング(株)]

◇施設メンテナンス・・・[日本メックス(株)]

【連結子会社】

【持分法適用関連会社】

1.社名の由来

「日比谷総合設備」という社名は、以下の背景を念頭に設立発起人会で協議の末に決定されました。

- 当時の社屋が日比谷界隈(第5森ビル)にあったこと
- 当社と縁の深い日本電信電話公社が当時日比谷公園の隣にあり、“日比谷本社”と呼ばれていたこと
(現NTT)

2.日比谷総合設備の歴史

年 月	沿 革
1966年(昭和41年) 3月	創立
1966年(昭和41年) 7月	創業
1977年(昭和52年)11月	東京証券取引所市場 第二部に上場
1995年(平成 7年) 9月	東京証券取引所市場 第一部に上場
2014年(平成26年) 4月	第5次中期経営計画(2014年4月～2017年3月)スタート
2016年(平成28年) 7月	日比谷グループ創業50周年

支店・営業所

- 本社・東京本店
- 支店 9
- 営業所 13



本 社



東京本店

幅広い設備領域をカバー

[空気調和設備]



[給排水衛生設備]



[電気設備]



[情報通信設備]



“日比谷バリューチェーン”

企画・設計

新設

運用・
メンテナンス

改修

建物ライフサイクル（LC）全般にわたる幅広いサービスメニューの充実
省エネ・老朽化診断コンサル、定期保守（点検）、設備システム・機器開発 等

商社

■ 空調・衛生・電気設備機器の販売 等

MACS空調機



耐電性作業台



*電気工事作業に最適な耐電圧仕様の作業台

ビル用マルチエアコン

室内機

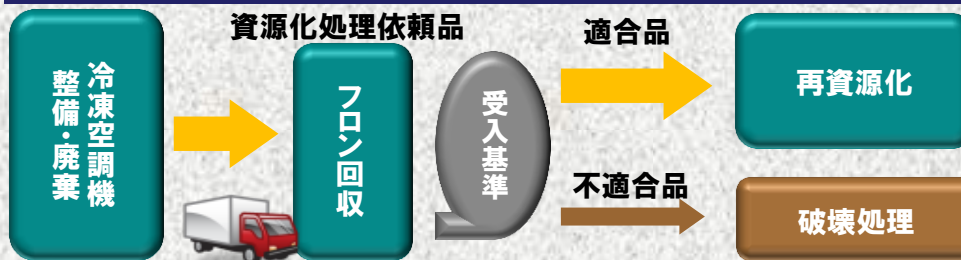


屋外機



フロンガス再資源化事業 (地球環境保護・循環型社会の形成)

* Multiunit Air-Conditioning System
・NTTで開発した通信機械室用の空調システム
・優れた温湿度制御・監視機能等により発熱密度の高い通信機械室で省エネルギー、信頼性を発揮

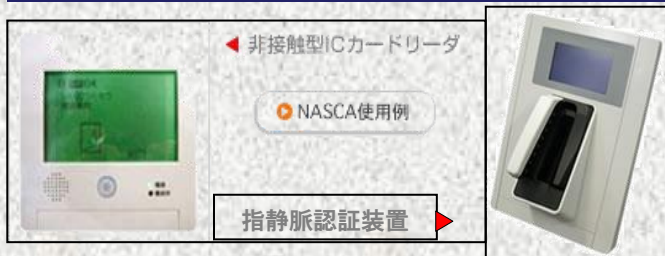


【グループ内連携】・当社開発商品(BEMS等)の販売・一元管理 等

メーカー

■ 入退室管理システム・空調防災機器製造 等

入退室管理システム「NASCA」



◆ 種々の建物の扉ひとつ～全体まで幅広く対応

ガス漏れストッパー「ガスパー」



◆ ポンプ転倒時のガス噴出を食い止め火災発生を防止

床吹き出しファンユニット



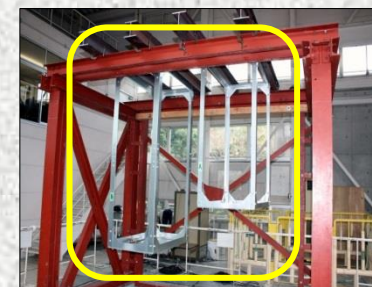
◆ 個々の体感に合わせた快適空間の演出を実現

火力発電所向ダンパ



◆ 煙・炎の遮断性能が優れ安全性が高い

ECO支持金物



◆ 従来品より軽量化・運送コスト面でメリット

【グループ内連携】・導入済セキュリティ改修共同営業 等

プラントエンジニアリング

■ 生産設備設計施工・保守管理 等

新製剤工場



外用薬工場



廃水処理施設



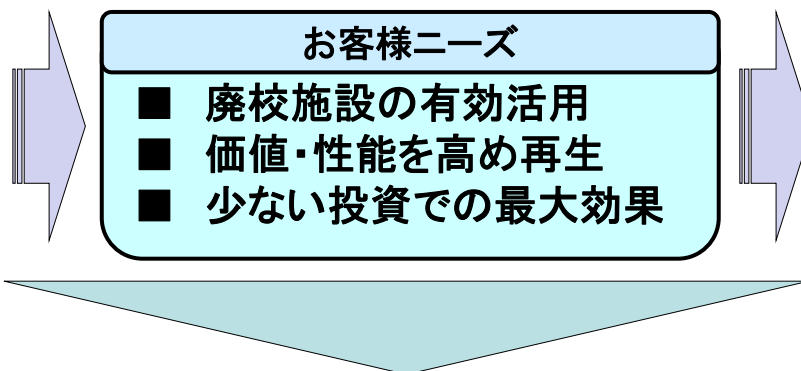
クリーンウェア販売



【グループ内連携】・当社受注某病院へ廃水処理システム導入提案 等

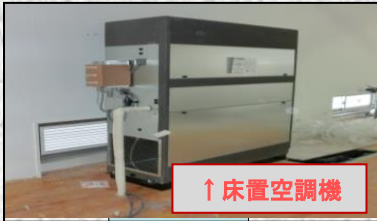
主な施工・受注物件

～富山県氷見市庁舎移転整備工事(空調・衛生・電気)～



延床面積:7,890㎡ 規模:地上3階 竣工年月:2014年4月

①



↑床置空調機

ホワイトボード
に組込



↑コミュニティスペース

大空間の室内中央部に床置空調機

市民利用掲示板に空調機等組込

周辺スペースの有効活用と両立

②



←見せる空調機



見せる配管→

お客様ニーズ「少ない投資で最大効果」

天井を張らずに“見せる配管・見せる空調機”

低予算を実現

③

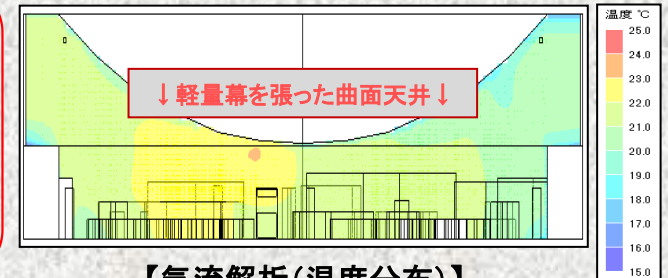


←曲面天井

幕天井下での空調環境に課題

室内温度分布・気流解析を実施

快適環境を確保



低予算で用途改修を実現した建物 ⇒ 報道関係にも広く紹介された事例



東京駅丸の内駅舎保存・復原

- 日本建築史上最大級の保存復原工事
- 全ての衛生設備を担当



JPタワー

- 旧郵便局時代の歴史的景観を継承したJPグループ不動産事業第一弾
- 国際会議場、ミュージアム等商業施設エリアの衛生設備工事を担当

【施工物件】

太陽光やEMSを導入したエコモデルタウンプロジェクト

(EMS: エネルギー・マネジメント・システムの略)

HIBIYA
Hibiya Engineering, Ltd.



グリーンコミュニティ田子西(宮城)

- ・エネルギー消費を抑制した震災復興住宅
- ・EMSの提案から施工まで一貫して担当

エネルギーセンタ



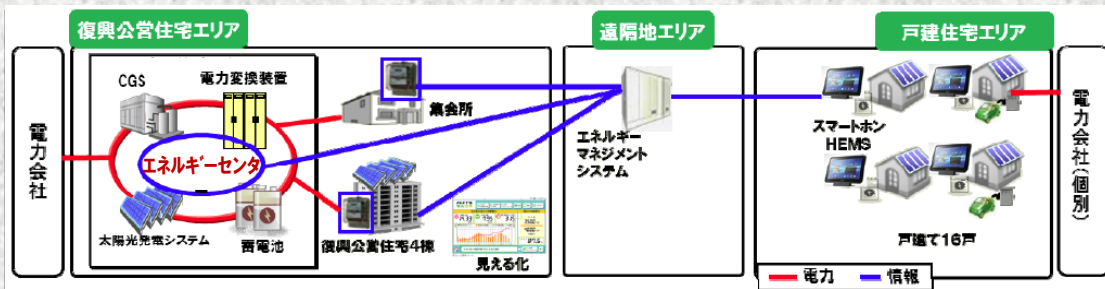
ガスコージェネレーションシステム



太陽光パネル



EMSサーバー



当社受注エリア
発電制御、デマンドレスポンス対応等により再生可能エネルギーの効率使用、省エネ等を実現

当社初の常設展示場も入居する大規模複合ビル



東京スクエアガーデン(京橋)

- 全ての衛生設備を担当



6階に当社常設ショールーム
【HIBIYA E&S PLAZA】を設置
(詳細はP28ご参照)



受水槽・揚水ポンプ



©(株)NTTファシリティーズ

ソーラーガーデン姫神(岩手)

【太陽電池容量:1,780kw】

【想定年間発電量:約1,830MWh
(一般家庭消費電力 約500世帯分)】

- 太陽光パネル設置工事を担当



©(株)NTTファシリティーズ

F富士宮太陽光発電所(静岡)

【太陽電池容量:1,239kw】

【想定年間発電量:約1,345MWh
(一般家庭消費電力 約370世帯分)】

- 太陽光パネル設置工事を担当



石川県加賀市統合新病院

- 全ての衛生設備(医療ガス設備等)を担当



(仮称)大久保三丁目 西地区再開発計画

- 全ての住宅部分・一部の事務所部分の空調設備を担当

**2015年3月期
第2四半期 決算概要**

決算概要（連結）

- 受注高・売上高ともに前期比増加
- 一部工事の損失計上により前期同様営業損失を計上したが、下半期の“増収”と“原価縮減策等諸施策の強化”により、通期計画は堅持

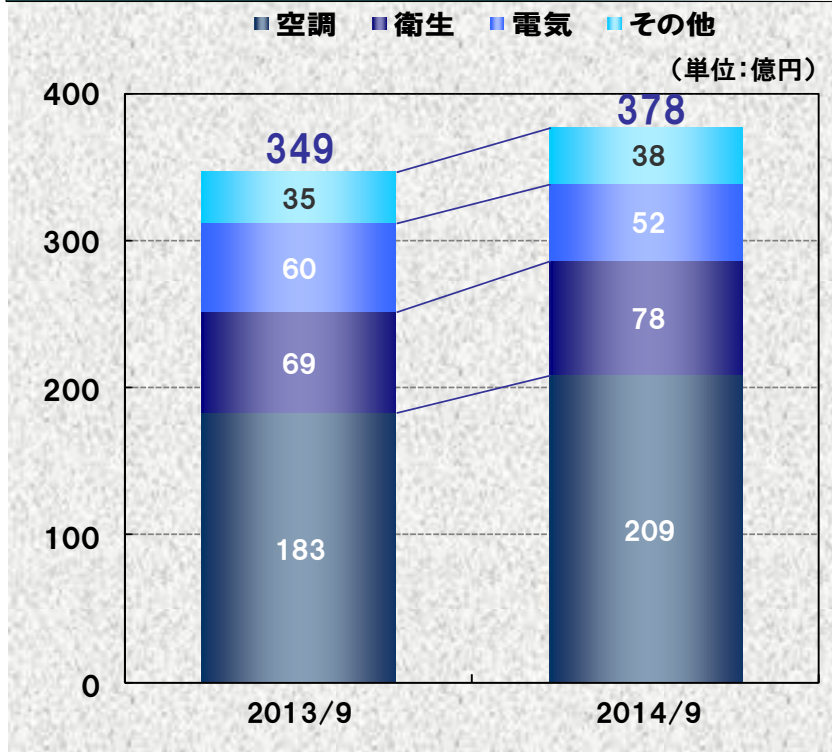
(単位:億円)

	2013/9 実績	2014/9 実績	前期比 (%)	2015/3 計画	第5次中計3力年 各年度目標値
受注高	349.8	378.5	8.2%	730	700 ~
売上高	262.4	281.0	7.1%	710	700 ~
営業利益	△9.1	△9.7	—	25	25 ~
経常利益	△5.5	△7.5	—	33	33 ~
四半期純利益	1.1	△4.9	—	20	20 ~

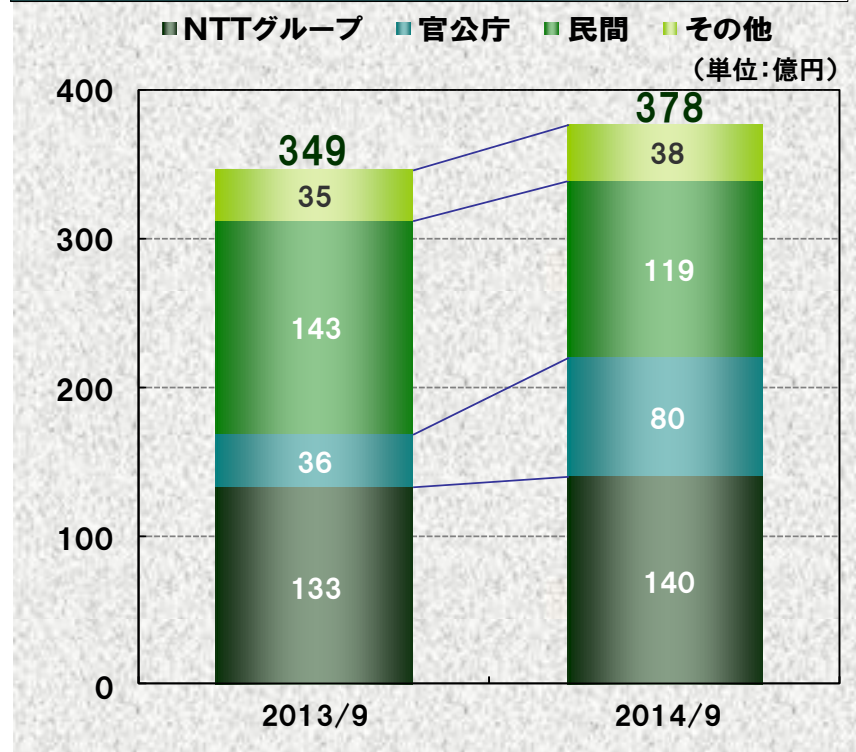
受注高 分野別・顧客別（連結）

■ “ソリューション営業の深化による注力領域の強化” から受注増加

分野別受注高



顧客別受注高

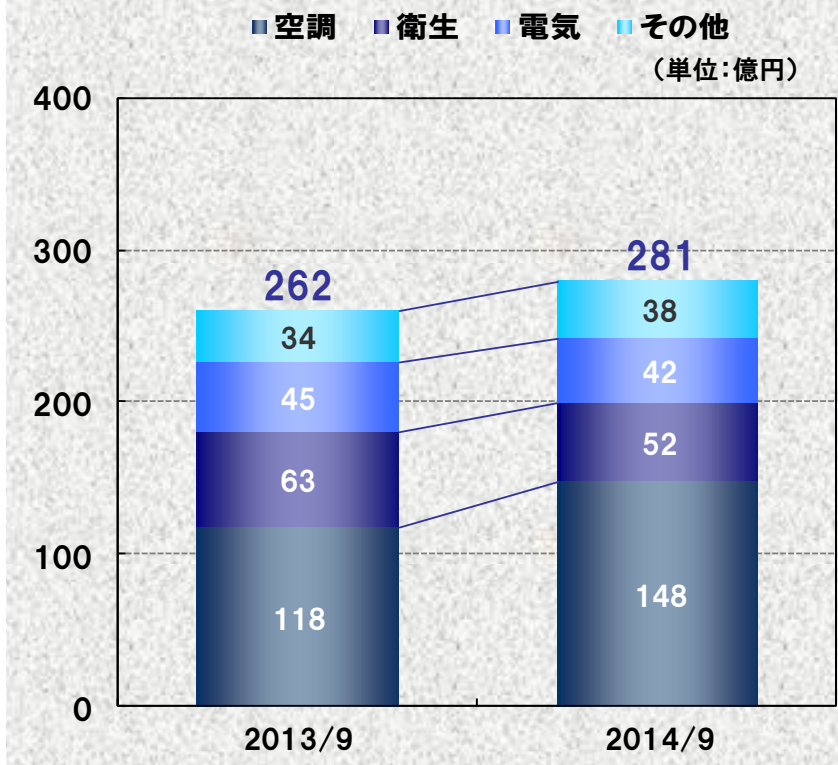


* 受注高その他はグループ会社の受注高

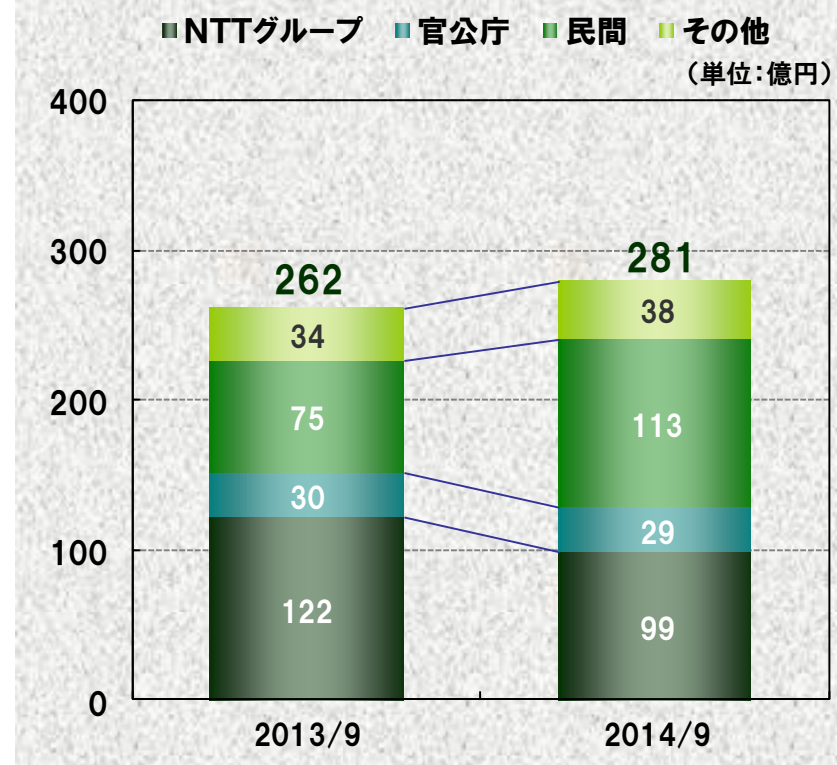
売上高 分野別・顧客別（連結）

■ “堅調な受注増加”を背景に民間を中心に増収

分野別売上高



顧客別売上高



* 売上高その他はグループ会社の売上高

株主還元施策の状況

株主配当金

【基本方針】

- 株主配当については、“安定的な株主還元”の観点より、連結ベースでの純資産配当率(DOE)に着目し実施
- 第4次中期経営計画における「安定配当を継続しつつ利益を積み上げ純資産額が増加した成果」も踏まえ、1株につき中間・期末配当ともに16円とし、年間配当金を従来の30円より2円増配し32円とする

【2015年3月期】 ■ 本方針により中間配当金は1株当たり16円を実施

自己株式の取得・消却

【基本方針】

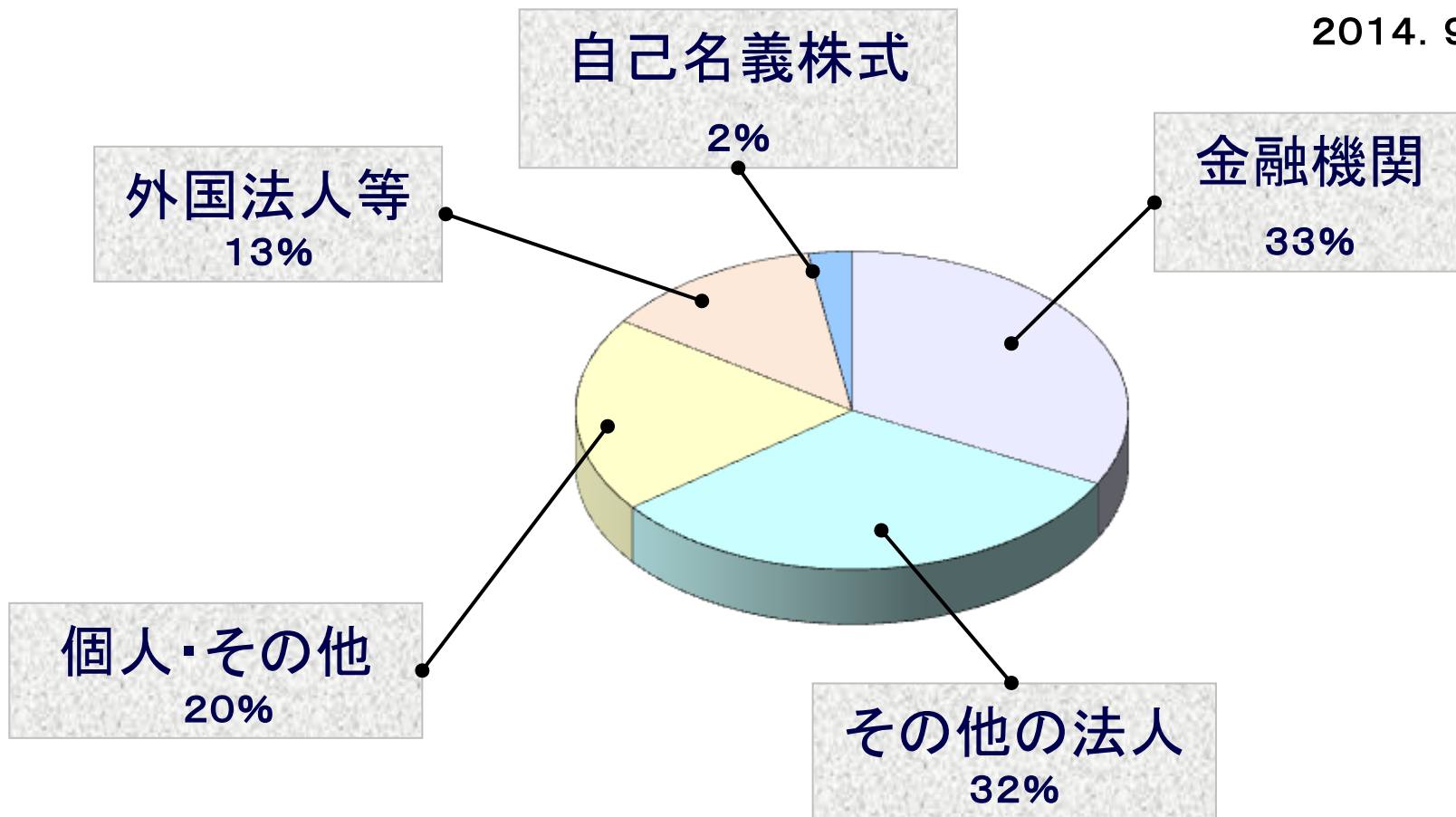
- 自己株式の取得は、株主還元の一環として引き続き機動的に取り組む
- 保有自己株式は、基本的には有効活用を前提とするが、当社を取り巻く環境等に応じて柔軟に対応

【2015年3月期】

■ 年間取得株	50万株	7.5億円
■ 上半期取得実績 (進捗率)	20.7万株 (41.5%)	3.2億円 (43.2%)

株式の状況 [株主構成]

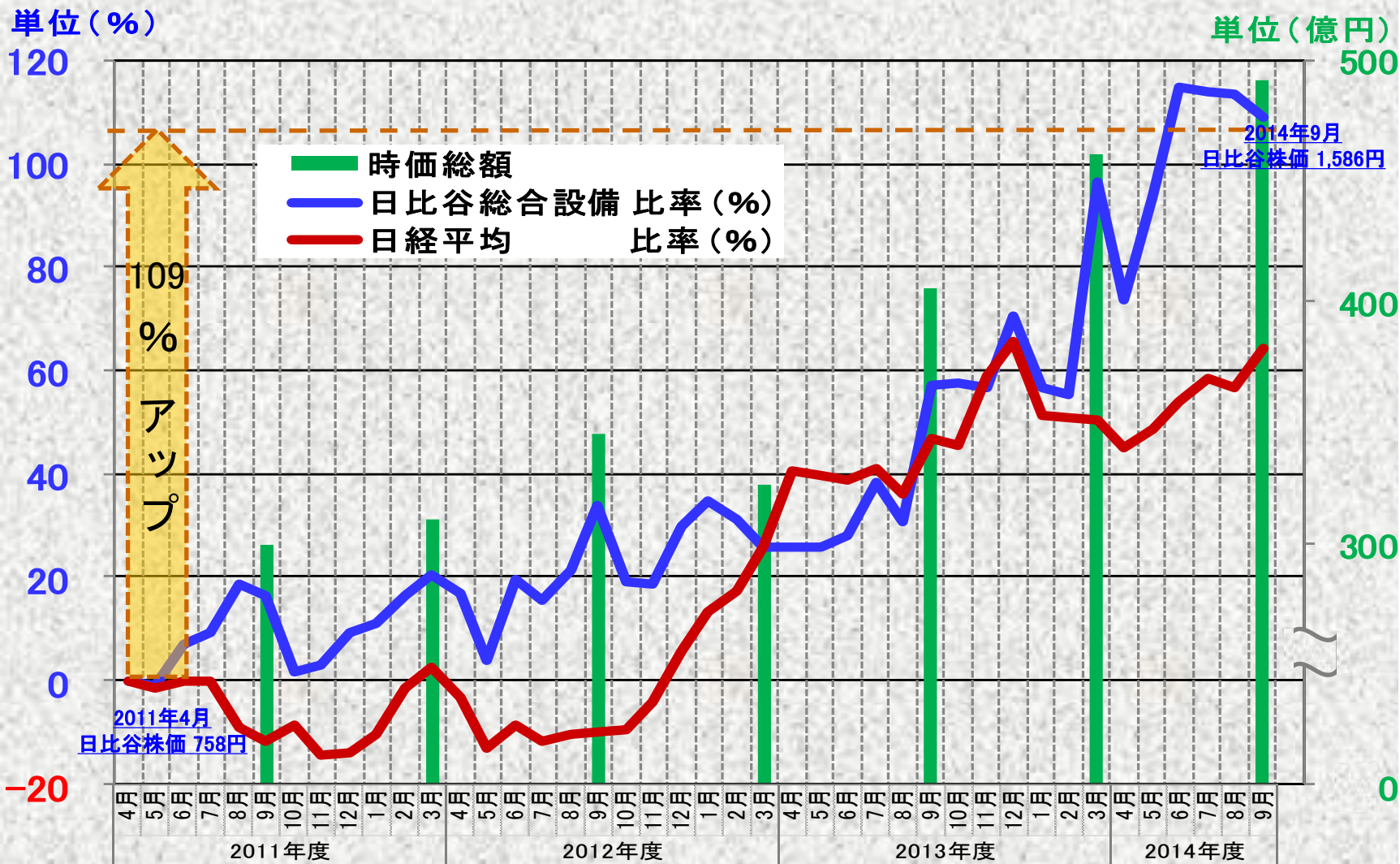
2014. 9末



発行済株式の総数 : 31,000,309 株
9 月末株主数 : 2,652 名

株価・時価総額推移

株価は2011年4月末終値を基準とした値動きの増減率の推移



第5次中期経営計画と 初年度上半期の実施状況

【第5次中期経営計画 2014年4月～2017年3月】

最終年度2016年7月は日比谷グループ創業50周年

第5次中期経営計画の概要

基本方針

■ お客様のニーズにワンストップで応える「**総合エンジニアリングサービス企業**」へ飛躍

基本戦略

LCTータル
ソリューション
(※)の実現

- 注力領域での受注拡大
- ソリューション営業深化・技術高度化
- グループ・シナジー追求

経営基盤
の強化

- 情報・ノウハウの蓄積・活用
- グループ経営一体化
- 効率化追求・人材高度化

安心・安全
な経営

- CSR充実・コンプライアンス遵守

	建物のライフサイクル			
	企画・設計	新設	運用・メンテナンス	改修
ソリューション				
エネルギー				
ICTスマート				
防災BCP				
その他				

付加価値の高い最適解

建物ライフサイクル全般にわたり

高付加価値ビジネスの拡大で『着実な収益確保』

お客様にとって
ベストパートナー

当社にとって
ゴールドカスタマー

(※) 建物ライフサイクル全般にわたるサービスの拡大により、多様化・高度化・複合化するお客様のニーズに対応しベストパートナーの関係構築を目指す

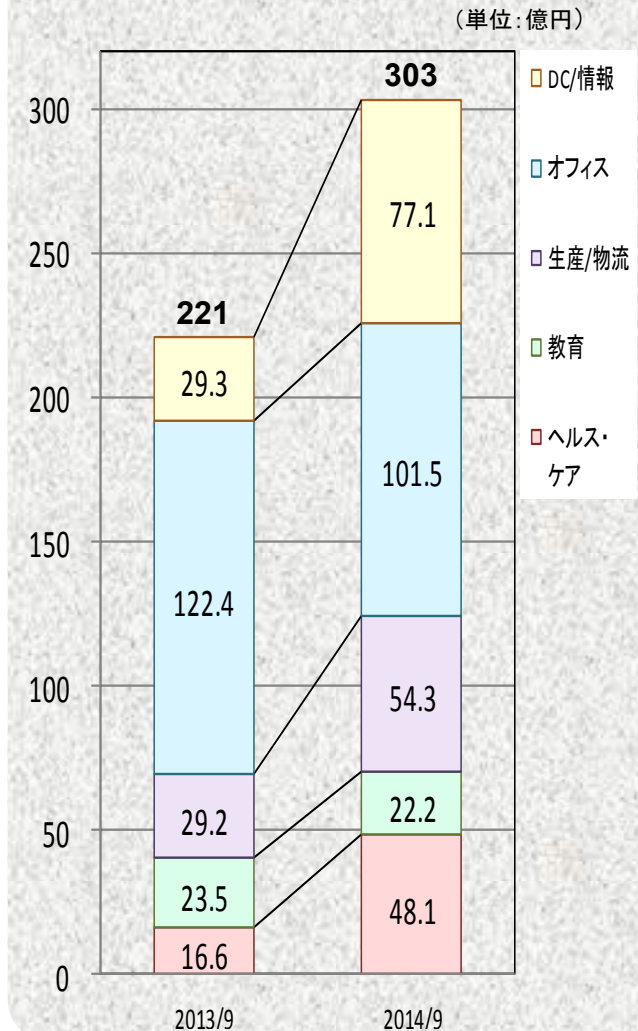
注力領域での受注拡大

注力領域の施策内容・実績値

注力領域強化キャンペーンの実施(6~7月)

データセンタ /情報 (77.1億円)	▶アライアンス・シナジー活用による民間DC業者開拓 ▶BCP・居抜き技術等を切り口とした提案
オフィス (101.5億円)	▶実績を軸にゴールドカスタマーへ多面的な提案 ▶維持管理会社・PM会社等とのアライアンス強化
生産/物流 (54.3億円)	▶節電ニーズに応えたBEMS等導入提案 ▶物流増加のトレンドを見据えた複数メニューの提案
教育 (22.2億円)	▶劣化診断・修繕計画等に補助金を絡めた提案 ▶公立学校空調設置等PPP・PFI事業の取組
ヘルス・ケア (医療福祉) (48.1億円)	▶医療設備向け技術棚卸・高付加価値メニュー活用 ▶アフターフォロー強化による継続案件の発掘

【受注額の推移】



LCトータルソリューション営業^(※)の実績

【受注額】
280億円

エンジニアリング 240億円

ソリューション営業・技術等による新增築・リノベーション・設備システム等

サービス 40億円

企画設計・コンサル・診断・運用管理等



【データセンタ】

(※)建物ライフサイクル(LC)全般にわたり付加価値の高いサービスを提供し、あらゆる場面でのニーズに最適解を提案できる営業スタイル

具体的な取り組み

【各種施策の展開による営業拡大】

- 新築施工後の定期保守等アフターフォロー徹底により熱源更改等受注
- NTTグループ各社との技術・営業コラボレーションで新たな事業スキーム・顧客を開拓(太陽光発電・データセンタ)

【エネルギー・スマート関連技術を切り口の営業拡大】

- 温泉エリアの天然ガスを使用したコージェネレーションシステム受注(補助金活用)
(P24参考資料ご参照)
- BEMS導入を切り口とした省エネ改修
(P25参考資料ご参照)

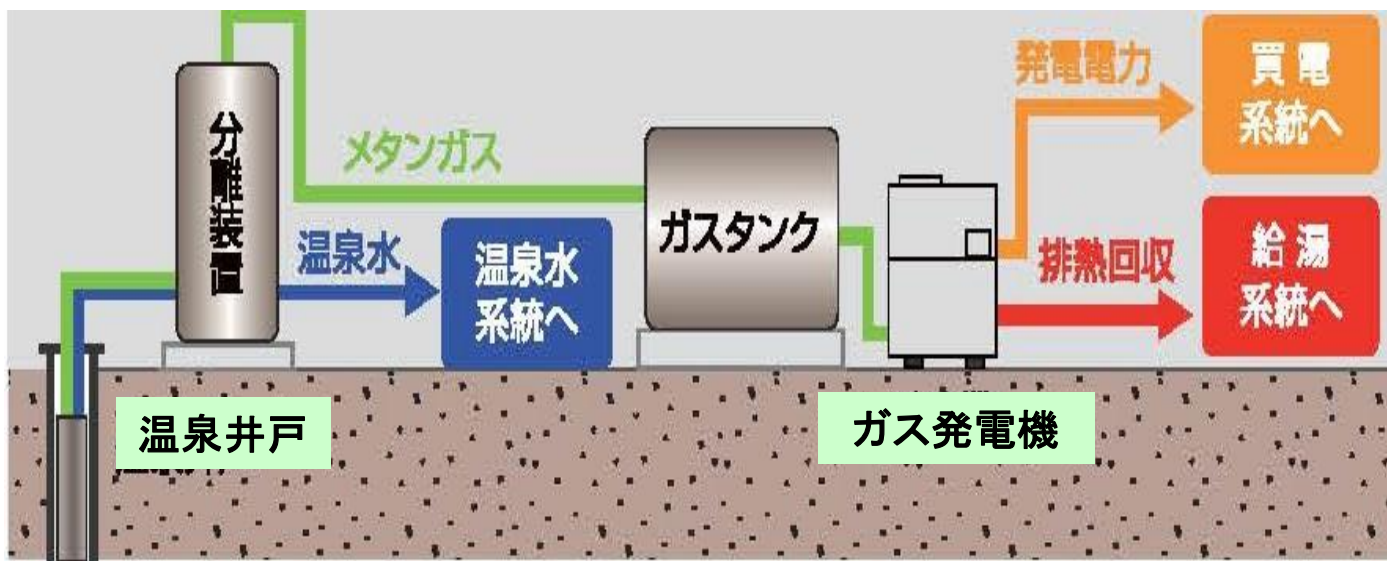
【NTTグループ各社へのLCトータルソリューション提案】

- ①劣化対策 ②省エネルギー ③新技術・共同提案



【天然ガスコージェネレーションシステム】

■天然ガスを利用して発電・給湯するシステム



- 温泉水から天然ガスを分離しガスタンクに精製・貯留
- ガス発電機による電気は商用電源に接続され電気量を削減
- 回収された排熱は給湯に用いられ燃料の削減に貢献

■BEMSとは: Building Energy Management Systemの略 ICTを駆使し、ビルの電力量・温湿度の測定及び空調・ 照明機器等の効率的な制御管理を図るシステム

HA-BEMSはここが凄い!

「見える化」だけでなく
Smart-Saveと連携して
優れた制御機能を発揮

HA-BEMSのまるごと自動節電

節電・省エネを身近にしました!

お客様の導入メリット

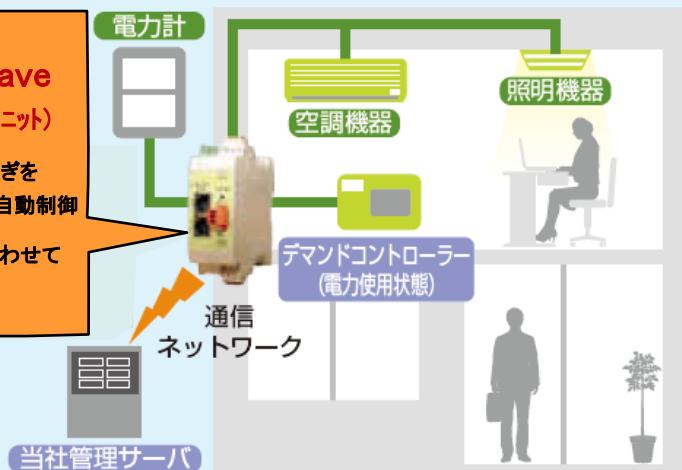
- コスト削減
- 快適な環境の実現
- “エネルギー見える化”による利用者の意識変革

HA-BEMSの特長

- **Smart-Save**との連携により「きめ細やかな制御」を実現
- 多様な規模の施設にフィット
- メーカーを問わず幅広い空調設備等を制御

Smart-Save (負荷制御ユニット)

- 電気の使い過ぎを見張り温度を自動制御
- スケジュールに合わせて自動でオンオフ



HA-BEMS
＜一歩先を行くスマートな節電提案＞
エネルギーの「見える化」
+
アクティブ(能動的)制御で賢い節電

先進技術活用による業務効率化・営業ツールへの活用

【高精度な3次元モデル図を効率的に作成】

- 高性能な3次元カメラで撮影した画像データを変換し、3次元モデル図を作成

※



- ▶現場省力化ツール・リニューアル業務・維持管理業務として展開



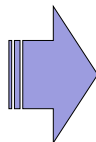
- ▶引合多数 **NTTグループ** **政府機関** **大手ガス会社** **維持管理会社** **教育機関**



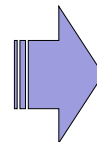
※ 3次元カメラ
(画像3次元距離測定装置)



【現場での撮影模様】



【3Dスキャナの画像例】



【3次元モデル図】

新エネ・省エネ技術の高度化

【太陽光ハイブリッドシステム】(NTTファシリティーズとの共同開発)

- 太陽光発電・太陽熱利用技術を融合させたシステム(「電気」と「熱」を同時に抽出)
- エネルギー総合変換効率が40%以上向上
- 共同住宅に導入準備中

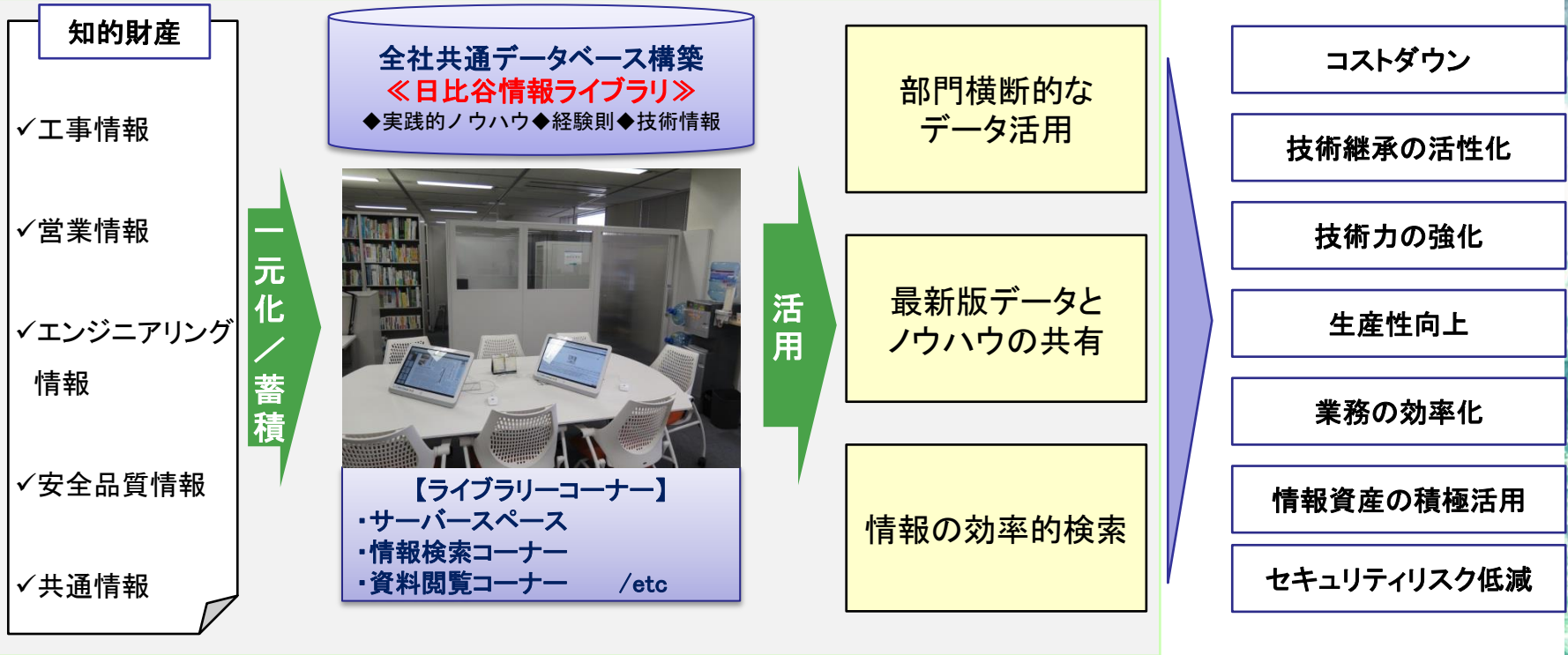


【太陽光ハイブリッドパネル】

■会社の知的財産を全社で部門横断的に共有・活用

日比谷情報ライブラリによるナレッジマネジメントの強化

効果



グループ一体化促進・成長の加速

異業種交流の場を定期的に提供～HIBIYA E&S SEMINAR～

当社初の常設展示場「HIBIYA E&S PLAZA」で、幅広い業種・行政機関・大学関係者等をお招きし開催

これまでのセミナー一覧

第1回

2013年10月29日(火) (NTTファシリティーズ、大和ハウス工業)

「本物だけが生き残る、ソーラー・エネルギー事業新時代」

第2回

2013年12月10日(火) (NTTファシリティーズ、日本メルセン)

「時代のキーワード『スマート』～省エネICT技術はさらに進化する」

第3回

2014年2月18日(火) (日本政策投資銀行、ファインテック、
健康ライフコンパス、CMエンジニアリング)

「オフィスの健康配慮がエクセレントな会社を作る」

第4回

2014年4月15日(火) (ヴェリア・ラボラトリーズ、東京サラヤ)

「生産性が上がりコストが下がる オフィス・工場のカシコイ省エネ術」

第5回

2014年7月9日(水) (資生堂、東京生薬協会)

「植物工場が広げる、健康・美容・食文化の新たな可能性」

第6回

2014年10月21日(火) (NTTファシリティーズ、シェルパ、パワープレイス)

「建物のライフサイクル価値を向上させるBIM技術」



〔トピックス〕

当社ホームページ4年連続最優秀サイト受賞



日興アイ・アールの「2014年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において
当社ホームページが**4年連続で最優秀サイト**(業種別1位、総合81位)を受賞



ご清聴ありがとうございました。

第2四半期 会社説明会
日比谷総合設備株式会社

2014年12月13日

【ご注意】

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。